

織物業における労働災害発生状況（1999-2022年）

織物業 コードNo.010203

織物業における事故の型別労働災害発生状況（1999-2022年）

事故の型	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
墜落・転落	21	16	18	9	9	9	12	14	16	13	13	8	9	6	11	10	9	8	7	11	14	6	6	13	268
転倒	32	23	29	34	24	18	21	22	21	19	14	15	19	16	17	12	12	17	15	15	11	10	8	14	438
激突	10	8	5	3	8	6	6	6	2	3	2	3	3	4		4		3		3	2	4	1	3	89
飛来・落下	14	12	10	5	7	6	7	8	5	4	6	4	7	5	2	3	3	1	5	3	1	2	7	4	131
崩壊・倒壊	1	2	1	1	1	1		1			1			2				1				1	1		14
激突され	3	4	2	4	3	3	4	2	1	2	4	1		2		3	1	1	3	2	2	3		1	51

溶接装置																									
炉、釜等	1														1									2	
電気設備			1					1		1									1					4	
人力機械工具等	10	13	5	5	8	7	6	2	5	3	2	2	2	1	4	4	2	1	5	1	3	2	3	6	102
用具	13	12	10	8	11	5	7	11	19	7	13	5	12	4	8	6	7	5	7	9	6	4	5	11	205
その他の装置、設備	3	6	1	2			2	1	2	2	1	2	1		5	4	1	3	1	4	2		2	4	49
仮設物、建築物等	30	19	32	23	21	16	24	19	14	22	10	13	10	13	15	15	12	20	14	16	13	10	8	11	400
危険物、有害物等		1	1	4		1	1							1			1							1	11
材料	13	4	7	6	2	10	3	7	4	2	4	3	6	5	3	1	4	2	3	1	4	4	5	1	104

の炉、 窯等																									
送配電 線等																									
電力設 備																									
その他 の電気 設備			1					1		1									1					4	
人カク レーン 等			1				1																1	3	
人力運 搬機			1		2		3	2	3	3	1	2	1	1	3	2	1	1	5				2	33	
人力機 械					1										1						1			3	
手工具			3		5		2		2		1		1			2	1			1	3	1	3	3	28
はしご 等			7		7		5	8	13	5	6	3	7	2	5	3	3	4	3	7	4	1	4	9	106
玉掛用							1				2					1			1					5	

具																									
その他 の用具			3		4		1	3	6	2	5	2	5	2	3	2	4	1	3	2	2	3	1	2	56
その他 の装 置、設 備			1				2	1	2	2	1	2	1		5	4	1	3	1	4	2		2	4	38
足場											1				1					1					3
支保工																									
階段、 栈橋			3				4	3	2		4	1			3	3	2	1	4	2	1	2		3	38
開口部			2		1											2									5
屋根、 はり、 もや、 けた、 合掌										1			1	2		1									5
作業 床、歩 み板			4		8		3	5	1	6	3	2	3	4	6	3	1	6	4	2	3	1		1	66
通路			16		8		12	11	7	11	3	5	5	5	4	4	7	11	6	8	7	5	4	7	146

低温環境														1										1	
その他の環境等							1	1	1			1	1						1	1			1	1	9
その他の起因物			3					2	3	2				1	1					1	2				15
起因物なし			6					4	5	1	1	1	3	1	3	2	3	4	4	4	3	4	3	2	54
分類不能			2				1	1												7					11
合計	177	150	140	114	119	108	98	101	85	66	77	56	70	56	67	69	54	59	68	64	66	45	41	53	2,003

織物業における年齢別労働災害発生状況（1999-2022年）

年齢	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
19歳以下	5	6	3	4	2	3	2		1	2		2		1	2	1	1	1			1	1		1	39
20歳-29歳	15	16	13	14	12	11	7	9	7	7	6	6	7	9	1	13	4	9	9	6	10	4	8	6	209

30歳-39歳	19	22	11	7	17	17	9	19	11	7	11	12	12	5	9	10	10	5	12	12	8	5	5	5	260
40歳-49歳	28	21	16	23	17	10	14	14	11	5	16	9	10	5	16	11	16	12	14	15	13	12	8	10	326
50歳-59歳	75	56	66	45	44	49	42	38	33	25	22	15	24	13	10	16	8	15	9	14	14	6	8	12	659
60歳以上	35	29	31	21	27	18	24	21	22	20	22	12	17	23	29	18	15	17	24	17	20	17	12	19	510
合計	177	150	140	114	119	108	98	101	85	66	77	56	70	56	67	69	54	59	68	64	66	45	41	53	2,003

織物業における労働者規模別労働災害発生状況（1999-2022年）

労働者規模	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
9人以下	33	33	39	25	25	23	19	23	14	13	20	15	15	8	11	19	7	5	11	5	13	8	4	4	392
10人-29人	62	46	53	37	34	24	30	27	32	16	25	15	17	18	25	17	16	18	17	22	15	12	17	14	609
30人-	32	15	17	17	26	25	19	15	13	12	11	9	13	10	13	6	9	14	5	17	13	8	4	10	333

茨城			3						1															4	
栃木		1	1		1		1		3		1		1	1			1		1			1	1	14	
群馬	5	2			3			1	1	1	1	1	3	2			1	1	3			1		26	
埼玉	2		1		2			1	1		3				2	1	1				2		2	18	
千葉			1																					1	
東京	1						2			1	2			1	1	2	1	1	1				1	1	15
神奈川											1					1	1	1						4	
新潟	4	8	7		4		3	1		3	4	3	2	2	1	1	2	1	2	4	1	6		3	62
富山	3	1	2				4	2	3	1	3	4	5	3	5	1			1	1	3	6	1	3	52
石川	8	10	4		8		7	7	6	2	4	3	4	2	3	7	2	6	8	9	3	3	1	4	111
福井	24	20	16		15		14	9	13	11	10	5	6	5	4	13	9	13	10	12	15	1	8	13	246
山梨			1		1		1	1										1						5	
長野																									
岐阜	6	6	1		2		1	2	5	3	2		1	2	3	1	1	3	4	1	3	3		1	51
静岡	4	3	5		6		4	4	3	1	4	3	3	2	2	1	2	2	1	2				3	55
愛知	24	12	14		12		8	11	7	10	5	5	9	8	11	2	5	6	1	5	1	5	2	1	164
三重			3		1				2		1	2	1	1		2		1	2	2	3		1	1	23
滋賀	6	8	4		6		5	2	7	5	2	1	1	2	2	2	5	3	6	4	2	2	5	1	81

大分								1																1	
宮崎														2	1									1	4
鹿児島		1							1	1															3
沖縄														1	1										2
合計	177	150	140	114	119	108	98	101	85	66	77	56	70	56	67	69	54	59	68	64	66	45	41	53	2,003

休業4日以上の労働災害（職業性疾病を含む。）を計上。2022年のデータは新型コロナ罹患を含まない。2021年、2020年のデータは新型コロナ罹患を含む。2011年のデータは東日本大震災による労働災害を含む。

出典: <https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.html> (職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202306_01.htmlに戻る。

=====

織物業における死亡災害発生状況（1999-2022年）

織物業 コード No.010203

織物業における事故の型別死亡災害発生状況（1999-2022年）

事故の	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	---

300人以上																								
合計		2	2	4			3		1							1	1			4				18

織物業における月別死亡災害発生状況（1999-2022年）

月	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計	
1月		1																							1	
2月																										
3月																	1								1	
4月			1				1																		2	
5月																										
6月		1		4																		4			9	
7月																										
8月																										
9月			1				1																		2	
10月																										
11月							1											1							2	
12月									1																1	
合計		2	2	4			3		1								1	1			4				18	

山口																							
徳島																							
香川																							
愛媛		1																					1
高知																							
福岡			4																				4
佐賀																							
長崎																							
熊本																							
大分																							
宮崎																							
鹿児島																							
沖縄																							
合計		2	2	4			3		1						1	1			4				18

出典: <https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.html> (職場のあんぜんサイト)

織物業における死亡災害事例（1999-2021年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	起因物 (小)	事故 の型	労働者 規模
2019	6	14 ～ 16	織機を用いた繊維の加工・製造を行う事業場において、事業場敷地内の第一工場から出火し、第二工場、第三工場へと延焼し全焼した。その結果、第二工場内にて1名、第三工場にて2名の遺体が発見された他、3名の労働者が負傷した。	分類不 能	火災	50 ～ 99
2019	6	14 ～ 16	織機を用いた繊維の加工・製造を行う事業場において、事業場敷地内の第一工場から出火し、第二工場、第三工場へと延焼し全焼した。その結果、第二工場内にて1名、第三工場にて2名の遺体が発見された他、3名の労働者が負傷した。	分類不 能	火災	50 ～ 99
2019	6	14 ～ 16	織機を用いた繊維の加工・製造を行う事業場において、事業場敷地内の第一工場から出火し、第二工場、第三工場へと延焼し全焼した。その結果、第二工場内にて1名、第三工場にて2名の遺体が発見された他、3名の労働者が負傷した。	分類不 能	火災	50 ～ 99
2019	6	14 ～ 16	織機を用いた繊維の加工・製造を行う事業場において、事業場敷地内の第一工場から出火し、第二工場、第三工場へと延焼し全焼した。その結果、第二工場と第三工場間の中庭にて1名が死亡した他、1名の労働者が負傷した。	分類不 能	火災	10 ～ 29
2016	11	8 ～ 9	被災者は、災害発生地所在の事業場構内で、ロール状に巻かれた製品を床上操作式のクレーンを用いてトラックの荷台に積む作業を行っていたが、8時50分頃に被災者が倒れているのをトラックの運転手により発見された。発見時、被災者はクレーンにより動かされた製品と床に置かれていた製品との間に挟まれている状態で発見され、意識はなかった。	クレー ン	はさ まれ 巻き 込ま	50 ～ 99

					れ	
2015	3	17 ～ 18	繊維機械である1台のワインダー付近から出火。近くにいた被災労働者3名が初期消火を行ったところ一旦火が収まった。全員が工場を待避した後に、死亡した被災者が消火状況を確認しに行ったところ再び出火し、消火活動を試みたが手に負えず、一酸化炭素中毒により逃げ遅れて焼死した。	その他 の材料	火災	30 ～ 49
2007	12	9 ～ 10	被災者1名で出荷作業をしていたところ、フォークリフトのマストとヘッドガードとの間にはさまれた。	フォー クリフ ト	はさ まれ 巻き 込ま れ	10 ～ 29
2005	9	15 ～ 16	メリヤスの原料を置いている倉庫内で、フォークリフトに挟まれた。	フォー クリフ ト	はさ まれ 巻き 込ま れ	10 ～ 29
2005	11	10 ～ 11	フォークリフトのアタッチメントを最高位置に上げたままバックしていたところ、当該フォークリフトが横転し、逃げようと飛び降りた被災者が挟まれた。	フォー クリフ ト	転倒	10 ～ 29
2005	4	8 ～ 9	ペットボトルリサイクル工場内においてベルトコンベヤーにペットボトルを投入していた際、ベルトコンベヤーとベルトコンベヤーとの交差部分の隙間に巻き込まれた。	コンベ ア	はさ まれ 巻き 込ま	10 ～ 29

					れ	
2002	6	10	沈殿槽下部から脱水装置へ汚泥を送る配管の詰まりを除去するため、沈殿槽下部のピット内でフランジを外して沈殿槽	有害物	有害物との接触	1～9
	～	11	の水圧で詰まりを押し出すためにフランジ上流のバルブを開いたところ、内容物が一気に噴出して高濃度の硫化水素に			
			暴露し、救助者を含めて4名が死亡した。			
2002	6	10	沈殿槽下部から脱水装置へ汚泥を送る配管の詰まりを除去するため、沈殿槽下部のピット内でフランジを外して沈殿槽	有害物	有害物との接触	100～299
	～	11	の水圧で詰まりを押し出すためにフランジ上流のバルブを開いたところ、内容物が一気に噴出して高濃度の硫化水素に			
			暴露し、救助者を含めて4名が死亡した。			
2002	6	10	沈殿槽下部から脱水装置へ汚泥を送る配管の詰まりを除去するため、沈殿槽下部のピット内でフランジを外して沈殿槽	有害物	有害物との接触	100～299
	～	11	の水圧で詰まりを押し出すためにフランジ上流のバルブを開いたところ、内容物が一気に噴出して高濃度の硫化水素に			
			暴露し、救助者を含めて4名が死亡した。			
2002	6	10	沈殿槽下部から脱水装置へ汚泥を送る配管の詰まりを除去するため、沈殿槽下部のピット内でフランジを外して沈殿槽	有害物	有害物との接触	100～299
	～	11	の水圧で詰まりを押し出すためにフランジ上流のバルブを開いたところ、内容物が一気に噴出して高濃度の硫化水素に			
			暴露し、救助者を含めて4名が死亡した。			
2001	9	11	タオル工場内において、ドラムに巻き取られた縦糸を巻き返し機でビーム(φ約115mm)へ巻き取る作業を行なってい	その他 の一般 動力機 械	はさまれ 巻き 込ま れ	30 ～ 49
	～	12	て、巻き返し機(1分間に10回転程度)に巻き込まれた。			

					れ	
2001	4	16 ～ 17	外注先へパレットの回収へ行き重ねてあったパレットの一番上が他社のものであったので、市道の向いにある資材置場へそのパレットを運搬しているときに市道上で軽トラックにひかれた。	トラッ ク	交通 事故 (道 路)	10 ～ 29
2000	1	0 ～ 1	織機の糸つなぎの作業中に、織機の側面から突出していた回転シャフトに衣服(上衣)を巻き込まれた。	その他 の一般 動力機 械	はさ まれ 巻き 込ま れ	30 ～ 49
2000	6	17 ～ 18	就業時間が終了し帰宅するため自転車で構内道路(幅員14.4m)を通行中、反対側より走行してきたフォークリフトと道路中央付近で正面衝突した。	フォー クリフ ト	激突 され	100 ～ 299

2021年、2020年の事例は新型コロナ罹患を含む。2011年の事例は東日本大震災による労働災害を含まない。

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202306_01.htmlに戻る。